



「私たちが動かないといけない」

以下は、2018年8月15日に載った西日本新聞の記事です。

原爆投下後の長崎で撮影されたとされる写真「焼き場に立つ少年」への共感が、時代や国境を超えて広がっている。昨年末にローマ法王フランシスコが「戦争をもたらすもの」とのメッセージと自筆の署名を添えて、写真を世界に発信するように呼び掛けた。日本ではカトリック中央協議会(東京)が7月上旬に日本語版の写真カードの配布を始めると希望者が相次いだ。唇をかみしめ悲しみをこらえる少年の姿が人々の心を揺り動かしている。写真は米軍のカメラマン、ジョー・オダネル氏(1922~2007)が1945年に撮影。直立不動の少年が、亡くなった弟を背負い、焼き場で火葬の順番を待つ姿を写している。

国内では核兵器廃絶を訴えるローマ法王の呼び掛けに長崎大司教区の高見三明大司教(72)が応じて、カトリック中央協議会が動いた。「被爆地・長崎にいる私たちが動かないといけない」。オダネル氏の遺族の使用許可を得て20万枚の写真カードを作り、全国の教会を通じて配布を始めた。

はがきとほぼ同じ大きさの写真カードの裏面には「この少年は、血がにじむほど唇を噛(か)み締(し)めて、やり場のない悲しみをあらわしています」との説明文がある。

長崎市で生まれた高見氏自身、胎内で被爆。祖母ら親族10人以上を原爆で亡くしている。法王の呼び掛けを聞いて、親族に思いを巡らせた。被爆から6日後に亡くなった祖母は想像を絶する苦しみだったはずだ。母の妹の1人は畑仕事中に爆風や熱線を浴び、もう1人は遺体すら見つからない…。

少年の消息は知られていないが、自身を含め多くの人が少年に思いを重ねる。「戦争反対と千回言うより、1枚の写真が訴える力の方が大きい。宗教に関係なく、1人でも多くの人に手にしてほしい」。カトリック中央協議会は月内に7万枚を増刷し、教会を通じて配布する。

(記事ここまで)

21世紀になっても戦争を続ける人間の罪のため、「原罪の原爆」をひとり、その身に背負って死なれた、イエス・キリストの十字架の姿を知っている私たちは、高見司教と同じように「私たちが動かないといけない」と思わずにいられません。『平和をつくり出す人たちは幸いである』…の御言葉に、何をもって答えることができるでしょうか。



8.14(SUN) 礼拝プログラム

挨拶
ゴスペルタイム

静かな祈りのとき(黙禱)

祈禱

賛美

新聖歌325「歌いつつ歩まん」
注いでください(作曲:小山勇児さん)

主の祈り

聖書朗読

マタイによる福音書5章1~9節
(新約聖書P.5・口語訳)

聖餐式

特別賛美

River 川の流れを辿ってみよう 作曲:倉知契

聖書のお話:

平和をつくり出す人たちは
幸いである 牧師 倉知契

献金と賛美

感謝のこころ(持田樹理さん・井上美奈子さん)

頌栄

主はいま生きておられる

祝禱



【チャペル・ニュース】

- ◆ 皆様を心から歓迎します！
礼拝後、いつものように消毒・お掃除などお願いします。
コーヒータ임もあります、感染予防対策もご協力ください。
- ◆ 今週の祈禱会は木曜10時半。「祈りの小径」パンフレットをお持ちくださり、YouTubeでメッセージをご視聴くださることをお願いします。
- ◆ Seto Life Art Studioは夏休みです。
- ◆ 聖書通読は、旧約のダニエル書・ホセア書+1日2章ずつ詩篇！
- ◆ 8月28日(日) 9月3日(土) 9月4日(日)のスペシャル企画のために覚えてお祈り下さり、チラシを用いて、多くの方にイエス様の愛をお証しいたしましょう！皆様に参加して下さることが何よりの祝福です！

8月28日(日)
音楽ミサ



【メッセージ NOTE】

(1) 平和 とはいったい何でしょうか？

(2) それを「つくり出す」とは何をすることでしょうか？

瀬戸カルバリーチャペル × Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
担当牧師: 倉知契 kei.kurachi@gmail.com
日曜礼拝 朝 11 時//木曜祈禱会 朝 10 時半//ジョイキッズ 日曜朝 9 時半
礼拝(ミサ)を YouTube からご覧いただけます。



BLESSED
ARE THE
PEACE-
MAKERS

2022. 8. 14
日曜礼拝

瀬戸カルバリーチャペル
Seto Life Art Studio

いまま戦火にあるウクライナの国花は「ひまわり」です。平和を祈りつつ...